

# 指定管理業務モニタリング実績評価シート（令和元年度）

1 施設概要	
施設名	グリーンプラザみやま
所在地	山県市片原180番地6
指定管理者の名称	特定非営利活動法人コミュニティ美山
指定期間等	平成28年4月1日～令和3年3月31日 5年間 4年目
施設の設置目的	恵まれた自然環境の中で、歴史や文化を体験し、野外活動及びレクリエーション活動を通して、人と人との交流を図るふれあいの場としての利用に供する
業務内容	施設及び設備の維持管理に関すること 使用の許可及び制限に関すること その他グリーンプラザみやまの管理上又は設置の目的を達成するための事業
施設概要 (施設内容)	宿泊施設 コテージ村 管理棟、宿泊棟8棟 キャンプ場 管理棟、バンガロー20棟、ロッジ5棟 オートキャンプ場 6サイト その他施設 喫茶小屋、ピザ釜
施設所管課の名称	まちづくり・企業支援課

2 管理実績					
項目（単位）	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
宿泊利用者数合計（人）	12,623	12,286	11,961	10,162	11,149
利用料金合計（円）	38,931,394	38,721,380	36,542,541	32,299,248	37,499,847
コテージ利用率（%）	33.6	32.5	32.7	30.6	31.7
キャンプ場利用率（%）	41.1	43.2	39.3	32.6	31.3
オートキャンプ場利用率（%）	—	—	—	—	28.1
（ ）	第2期	第3期	第3期	第3期	第3期

主な成果 (自主事業含む)	使用(利用)料収入 目標 33,500,000 円 → 実績 37,499,847 円
	稼働率 目標 コテージ村裏90%以上 キャンプ場50 % → 実績 コテージ村65.1% キャンプ場31.3 %
	宿泊利用者数 目標 12,000 人 → 実績 11,149 人
	【主な自主事業実施による成果】
	・大黒山登山道作りを岐阜市山岳協会等の協力を得て実施、年度内に90%完成
	・ピザ焼き体験、イルミネーション点灯式、宿泊者へのモーニングサービス等が好評

### 3 評価

指標	評価	コメント
利用者の公平性の確保	B	「山県市グリーンプラザみやまの設置及び管理に関する条例」及び「山県市グリーンプラザみやまの設置及び管理に関する条例施行規則」ほか関係法令及び協定書の遵守により利用者の公平性が確保されている。また、共有スペースの利用について、説明を行い公平性を確保できている。
事業・業務の履行状況	B	事業計画の一部を検討しながら概ね履行している。
利用者満足度の向上度	B	利用者の要望に応じバンガローにエアコンを設置したところ、高評価を得た。
財務状況の適正性	B	概ね適正と認められる。

#### 評価の目安

##### 【利用者の公平性の確保】【事業・業務の履行状況】【利用者満足度の向上度】の評価基準

※モニタリングチェックシート(様式1、2)における評価を基に次の基準により評価する。

- A(優): 高く評価できる。
- B(良): 実施している。適切である。
- C(可): 概ね実施している。一部改善を期待する。
- D(不可): 実施していない。改善を要する。

##### 【財務状況の適正性】の評価基準

※モニタリングチェックシート(様式3)における内容について、次の基準により評価する。

- A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - C: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選定委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選定委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」もしくは「重大な懸念がある」とされた場合
- ※ 客観的評価として以上の基準によりA・B・C・Dを判定し、選定委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

### 4 指定管理者候補者選定委員会による評価

講 評	<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートの実施等により、利用者の傾向やニーズの把握に努め、積極的に自主事業に取り組んでおり評価される。</li> <li>ただし、自主事業の実施にあたっては、収支のバランスについて検討すること。</li> <li>・施設使用期間の拡充やオートキャンプ場の整備等に伴い、昨年度より利用者数は増加している。今後、利用者の維持・増加を図っていくため、繁忙期以外での利用者増加に向けて、創意工夫に取り組み計画的に事業を行われたい。</li> <li>・施設利用者の安全を考え、地域の特性(洪水・土砂崩れ)に重点を置いた安全管理マニュアルへの改訂を検討されたい。</li> <li>・活動計画書の正味財産額と貸借対照表の正味財産額の整合性を確認していただきたい。</li> </ul> <p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においては、状況が短期的に変化するため、担当課とのコミュニケーションを密にしていきたい。</li> <li>・担当課は、指定管理者のモニタリング評価を行うに当たっては、現状の課題を正確に把握した上で、適正に評価し、一層の業務改善、利用者増加、サービス向上に取り組まれたい。</li> </ul>
-----	--